

生 衛 第 1510 号
令和元年 5 月 15 日

高齢福祉課長
農政課長
農業振興課長
森林再生課長

} 様

生活衛生課長

有毒植物による食中毒防止の徹底について（通知）

このことについて、平成 31 年 4 月 25 日付け薬生食監発 0425 第 3 号で厚生労働省
医薬・生活衛生局食品監視安全課長から別添写しのとおり通知がありましたので、関
係機関に対する注意喚起について、御配慮くださるようお願いします。

なお、県ホームページ「有毒植物の誤食にご注意ください！」のページを参考とし
て御活用ください。

・県ホームページのアドレス

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/e8z/cnt/f6576/p798289.html>

問合せ先

食品衛生グループ 岩田、松永

電話 045-210-4940 ファクシミリ 045-210-8864

薬生食監発 0425 第 3 号
平成 31 年 4 月 25 日

各 $\left(\begin{array}{c} \text{都 道 府 県} \\ \text{保 健 所 設 置 市} \\ \text{特 別 区} \end{array} \right)$ 衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省医薬・生活衛生局食品監視安全課長
(公 印 省 略)

有毒植物による食中毒防止の徹底について

例年、特に春先から初夏にかけて、有毒植物の誤食による食中毒が多く発生しています。本年も別添のとおり、イヌサフラン、スイセン等の有毒植物の誤食による食中毒事例（平成 31 年 4 月 22 日現在、事件数 8 件、患者数 16 名）が報告されており、患者の多くを高齢者が占めています。

つきましては、各都道府県等におかれては、食用と確実に判断できない植物については、絶対に「採らない」、「食べない」、「売らない」、「人にあげない」よう、地域広報誌等、高齢者の目にもとまりやすい各種メディアの活用や、高齢者施設等の関係団体を通じ、継続的に注意喚起を行うようお願いします。また、有毒植物の苗が、野菜の苗として販売されていた事例も複数報告されていることから、必要に応じ、農林部局等関係部局とも連携し、事業者に対する監視指導を行うようお願いします。

参考) 厚生労働省ホームページ

- 有毒植物による食中毒に注意しましょう
(http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/yuudoku/index.html)
- 自然毒のリスクプロファイル
(http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/poison/index.html)

別添：平成31年3月、4月における有毒植物による食中毒事例
(平成31年4月22日現在)

【事例1】

発生年月日	平成31年3月11日
発生場所	千葉県、家庭
原因植物	ヒガンバナ
概 要	自宅の庭で自生していたヒガンバナをニラと誤って採取して喫食し、食中毒様症状を呈した。
患 者	2名 (50代女性、70代女性)
主な症状	吐き気、嘔吐

【事例2】

発生年月日	平成31年3月29日
発生場所	三重県、家庭
原因植物	スイセン
概 要	家庭菜園でニラと混在して生えていたスイセンをニラと誤って採取して喫食し、食中毒様症状を呈した。
患 者	3名 (20代男性、60代男性、70代以上男性)
主な症状	嘔吐

【事例3】

発生年月日	平成31年4月2日
発生場所	秋田市、家庭
原因植物	スイセン
概 要	スーパーでニラ苗と表示されたスイセンを購入して喫食し、食中毒様症状を呈した。
患 者	1名 (60代女性)
主な症状	吐き気、嘔吐

【事例4】

発生年月日	平成31年4月11日
発生場所	茨城県、家庭
原因植物	バイケイソウ
概 要	知人から野草を譲り受け、バイケイソウをオオバキボウシと誤認して喫食し、食中毒様症状を呈した。
患 者	3名 (10代男性、60代女性、70代男性)
主な症状	嘔吐、吐き気、めまい

【事例5】

発生年月日	平成31年4月13日
発生場所	山形県、家庭
原因植物	スイセン
概 要	自宅の畑で自生していたスイセンをニラと誤って採取して喫食し、食中毒様症状を呈した。
患 者	2名（30代男性、60代男性）
主な症状	嘔吐、腹痛、下痢

【事例6】

発生年月日	平成31年4月14日
発生場所	福井市、家庭
原因植物	スイセン
概 要	自宅付近に自生していたスイセンを喫食し、食中毒様症状を呈した。
患 者	2名（10代女性、30代女性）
主な症状	吐き気、嘔吐

【事例7】

発生年月日	平成31年4月17日
発生場所	群馬県、家庭
原因植物	イヌサフラン
概 要	知人宅に自生していた野草を譲り受け、同野草をギョウジャニンニクと誤って喫食し、食中毒様症状を呈した。
患 者	2名（70代男性、70代女性）
主な症状	嘔吐、下痢、呼吸困難

【事例8】

発生年月日	平成31年4月19日
発生場所	山形県、家庭
原因植物	スイセン
概 要	自宅の庭で自生していたスイセンをニラと誤って採取して喫食し、食中毒様症状を呈した。
患 者	1名（60代以上女性）
主な症状	寒気、吐き気、嘔吐

毒

有毒植物に要注意

山菜狩りなどで誤って有毒な野草を採取し、食べたことにより、食中毒が発生しています。

⚠ 有毒植物による食中毒で、死者も発生しています。

食用の野草と確実に判断できない植物は

絶対に

採らない！ 食べない！

売らない！ 人にあげない！

◎家庭菜園や畑などで、野菜と観賞植物を一緒に栽培するのはやめましょう。

◎山菜に混じって有毒植物が生えていることがあります。山菜狩りなどをするとき、一本一本よく確認して採り、調理前にもう一度確認しましょう。



野草を食べて体調が悪くなったら、すぐに医師の診察を！

見分けに迷ったら、最寄りの保健所へご相談ください！

＜食用と間違いやすい有毒植物の例＞

イヌサフラン



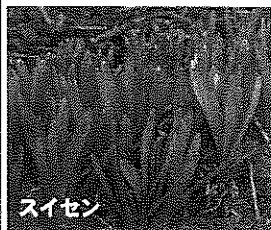
【中毒症状】

嘔吐、下痢、皮膚の知覚減退、呼吸困難。
重症の場合は死亡することもある。

【間違いやすい植物】 (葉)

- ・ギョウジャニンニク
- ・ギボウシ と類似。
- (球根)
- ・ジャガイモ
- ・タマネギ など

スイセン 及び スノーフレーク



スイセン



スノーフレーク
(スズランスイセン)

【中毒症状】

食後30分以内で、
吐き気、嘔吐、頭痛など。
(スイセンでは、悪心、下痢、
流涎、発汗、昏睡、低体温など
もある。)

【間違いやすい植物】

- ・ニラ など
- (スイセンは、ノビルやタマネギ
にも間違われやすい)

トリカブト



【中毒症状】

食後10～20分以内で、
口唇、舌、手足のしびれ、嘔吐、腹痛、下痢、
不整脈、血圧低下、けいれん、呼吸不全に
至って死亡することもある。

【間違いやすい植物】

- ・ニリンソウ
- ・モミジガサ など

ヒメザゼンソウ



若い葉(左上1枚は別植物)



展開した葉

【中毒症状】

食後すぐに唇のしびれ、
口腔内の腫れ、胃痛な
どをおこす。

【間違いやすい植物】

- ・オオバギボウシ(ウ
ルイ) など

過去10年間の有毒植物による食中毒発生状況（平成21年～30年）

植物名	間違えやすい植物の例（「自然毒のリスクプロファイル」より）	事件数	患者数	死亡数
スイセン	ニラ、ノビル、タマネギ	48	180	1
バイケイソウ	オオバギボウシ、ギョウジャニンニク	16	33	0
チョウセンアサガオ	ゴボウ、オクラ、モロヘイヤ、アシタバ、ゴマ	16	39	0
ジャガイモ	※親芋で発芽しなかったイモ、光に当たって皮がうすい黄緑～緑色になったイモの表面の部分、芽が出てきたイモの芽及び付け根部分などは食べない。	21	346	0
クワズイモ	サトイモ	13	26	0
イヌサフラン	ギボウシ、ギョウジャニンニク、ジャガイモ、タマネギ	13	19	8
トリカブト	ニリンソウ、モミジガサ	8	12	3
コバイケイソウ	オオバギボウシ、ギョウジャニンニク	5	13	0
ヨウシュヤマゴボウ	ヤマゴボウ	4	4	0
ハシリドコロ	フキノトウ、ギボウシ	3	8	0
観賞用ヒョウタン	ヒョウタン	3	20	0
アジサイ	※アジサイの葉や花が料理の飾りに使われる場合がありますので要注意	1	5	0
ドクゼリ	セリ	1	4	0
スノーフレーク	ニラ	2	5	0
ジギタリス	コンフリー（現在、食用禁止）	1	1	0
その他（タマスダレ、ヒメザゼンソウ等）		17	51	0
不明		4	14	0
合計		176	780	12

自然毒のリスクプロファイル

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/syokuchu/poison/index.html

○「毒キノコ」にも、ご注意ください！

・ 毒キノコによる食中毒に注意しましょう

○代表的な有毒植物及び毒キノコの特徴については
「自然毒のリスクプロファイル」をご覧ください。

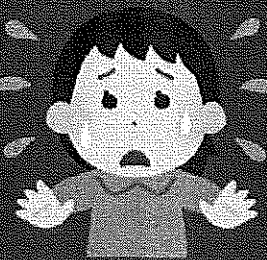
○一部地域で、山菜から放射性物質が検出されています。

山菜狩りをする場合は、
放射性物質のモニタリング検査結果や各種制限などの情報を確認、または
最寄りの市町村に安全性を問い合わせるなど、十分な注意を払ってください。

→ 林野庁ホームページ「山菜採取にあたっての留意点」

おじいちゃん、おばあちゃん、**食べないで!**

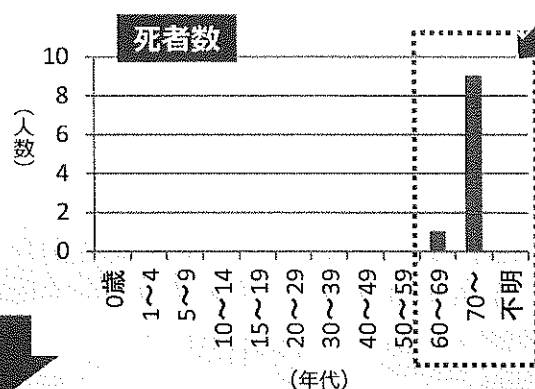
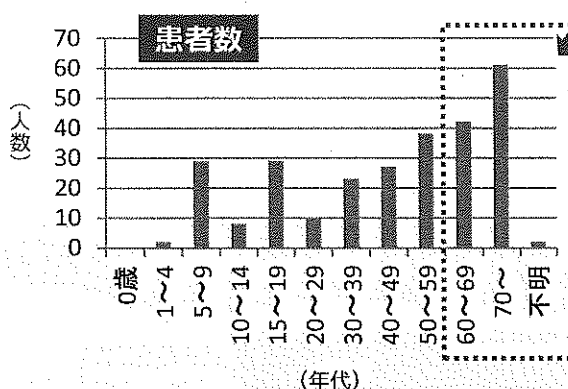
それ、**有毒植物**ですよ!!



**高齢者の方が、有毒植物を山菜などと間違っ
て食べて、死亡する事案が発生しています。**

年代別にみた有毒植物※による食中毒患者数・死亡者数 (2014~2018年)

※キノコとジャガイモを除く



⚠ **食用と確実に判断できない植物は、**

採らない! 食べない!

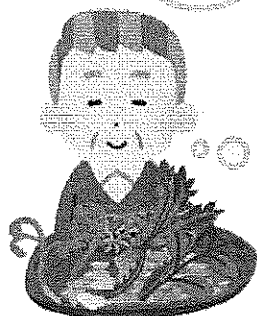
売らない! 人にあげない!

絶対に

『ニラ』に似た植物
が生えているわ?
食べられる
のかしら?



よくわからないも
のは、食べてはい
けないよ!



✓ 家庭菜園や畑などで、野菜と観賞植物を一緒に栽培するのはやめましょう。

✓ 有毒植物が山菜に混じっていることがあります。食用と確実に判断できない植物を食べるのはやめましょう。

✓ 食用の植物だと思っても、植えた覚えのない植物を食べるのはやめましょう。

⚠ **野草を食べて体調が悪くなったら、すぐに医師の診察を!**



厚生労働省



食べないでください！

— 食用と間違えやすい有毒植物の例 —

スイセンおよびスノーフレーク



スノーフレーク



スノーフレーク
(スズランスイセン)

【中毒症状】

食後30分以内で、吐き気、嘔吐（おうと）、頭痛など。（※スイセンでは、悪心、下痢、流涎（りゅうぜん）、発汗、昏睡、低体温などもあります）

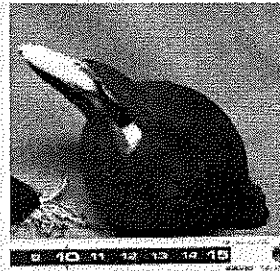
【間違えやすい植物】

・ニラ など（※スイセンは、ノビルやタマネギとも間違えやすいので、特にご注意ください）

イヌサフラン



葉



球根

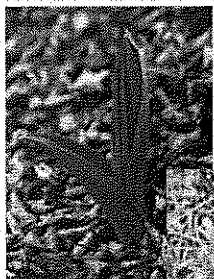
【中毒症状】

嘔吐（おうと）、下痢、皮膚の知覚減退、呼吸困難。重症の場合は死亡することもあります。

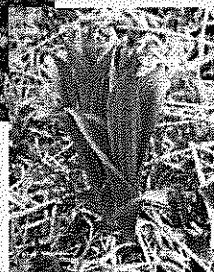
【間違えやすい植物】

《葉》・ギョウジャニンニク ・ギボウシ と類似。
《球根》・ジャガイモ ・タマネギ など

バイケイソウ



芽出し期
のバイケイ
ソウ



芽出し期
のコバイ
ケイソウ

【中毒症状】

嘔吐（おうと）、下痢、手足のしびれ、めまいなどの症状が現れ、死亡することもあります。

【間違えやすい植物】

・オオバギボウシ（ウルイ）
・ギョウジャニンニク など

グロリオサ



【中毒症状】

口腔・咽頭灼熱感、発熱、嘔吐（おうと）、下痢、背部疼痛などが発症し、臓器の機能不全などにより、死亡することもあります。

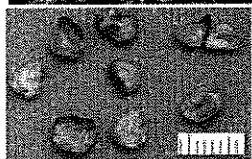
【間違えやすい植物】

《根》・ヤマイモ

チョウセンアサガオ



チョウセン
アサガオの葉と花



チョウセン
アサガオの種

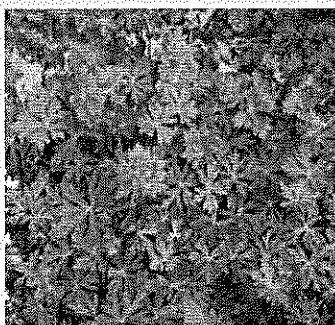
【中毒症状】

口の渇き、瞳孔の散大、意識混濁、興奮、麻痺、心拍数の増加 など

【間違えやすい植物】

《葉》・モロヘイヤ
・アシタバ
《根》・ゴボウ
《種》・ゴマ など

トリカブト



【中毒症状】

食後10～20分以内で、口唇、舌、手足のしびれ、嘔吐（おうと）、腹痛、下痢、不整脈、血圧低下、けいれん、呼吸不全に至って死亡することもあります。

【間違えやすい植物】

・ニリンソウ
・モミジガサ など

・代表的な有毒植物の特徴は「自然毒のリスクプロファイル」をご覧ください。

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/poison/index.html